

令和3年度第2回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果

日時：令和4年2月14日（月）17：30～19：00

場所：茨城県庁15階 病院事業管理者室

【出席委員】

城西大学教授	伊関 友伸 氏
公認会計士	清水 至 氏
(一社)茨城県医師会長	鈴木 邦彦 氏 (委員長)
群馬県立小児医療センター院長	外松 学 氏
(一社)茨城県精神科病院協会会長	高沢 彰 氏
筑波大学附属病院長	原 晃 氏
(公財)茨城県総合健診協会顧問 (県医療改革担当顧問)	山口 巖 氏
(株)日立製作所日立総合病院長	渡辺 泰徳 氏

【議事内容・意見等】

○議事内容

- ・ 令和3年度第1回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果
- ・ 茨城県病院事業中期計画（平成30～令和5年度）の進捗状況
- ・ 令和4年度の各病院の主な取組
- ・ 茨城県病院事業中期計画（平成30～令和5年度）の一部改定

○主な意見

- ・ 茨城県では高度急性期病床が足りていない。全体の病床数を減らし、ICU等高度急性期病床を増やした方が、地域のニーズにも応えられるし収益も上がる。民間病院と役割分担をしていく方向で議論して欲しい。
- ・ 精神科病院の経営強化については、長期入院を解消して地域生活を支援していくことが今後さらに重要になってくると思う。今後、新たに経営強化プランの策定が必要となるが、その際はこのような取組を支援する体制を積極的に検討してほしい。
- ・ 令和5年度には働き方改革に関する改善計画を立てなければならないため、少なくとも令和4年度はデータ収集等の取組が必要だと思う。
- ・ コロナ対応において、県立病院は、他の病院では受入れが難しい患者の受入れを引き続きお願いしたい。